



超高齢化社会への挑戦

4月21日、厳原町の対馬市交流センターで、東京大学高齢社会総合研究機構の辻哲夫特任教授による「地域包括ケアシステム講演会」が行われました。高齢化社会に向けて、地域や個人がどのような事をしていけば良いのか提言していただきました。



日韓の友情のために

ソウルを4月11日に出発した第5次21世紀の朝鮮通信使「ソウル〜東京」友情ウォークの参加者が4月23日に対馬に訪れました。今後は朝鮮通信使ゆかりの地を訪問しながら、50日間をかけて東京まで友情の輪を広げていきます。



地域の安全を見守ります！

4月16日、対馬市内郵便局と対馬市は地域における見守り活動に関する協定書を締結しました。この協定は市内において、郵便局員が業務中、住民及び地域に何らかの異変に気づいた場合は、警察及び関係機関に速やかに連絡することで地域の安心・安全を見守ります。



活ある瀬地区を!!

4月26日、厳原町瀬地区で対馬市瀬ふれあいセンター落成式が行われました。かねてから住民の希望で建てられたふれあいセンターは、瀬地区の様々な拠点となり、また災害時の避難場所としても活用されます。



消防活動への思いを胸に

4月10日、対馬市交流センターで第38回長崎県下消防職員意見発表会が開催されました。県下10地区の消防本部より15名が出場し対馬市消防本部代表の阿比留幸輝さんが最優秀賞を獲得。4月24日熊本市で行われた九州大会に出場しました。



雨にも負けず

4月19日、上対馬町で「かみつしま 渚きらきらウォーク」が開催されました。当日はあいにくの雨模様で、参加者達は傘を片手に5kmのコースと8kmのコースに別れ、雨の上対馬を散策しました。



犯罪なく3(さん)ば!!

4月21日、対馬南警察署で「犯罪なく3ば運動推進モデル地区」に豊玉町仁位地区が指定され交付式が行われました。交付式では、松井雅美仁位地区長が同署長から指定書を受け取り、住民と一体となって安全安心な町を作っていくと話されました。